

令和4年5月16日

各 位

公益財団法人 日本チャリティ協会
常務理事 高木 渉

公益財団法人日本チャリティ協会
会長 高木金次の逝去に関するお知らせ（訃報）

当協会の設立者であり、代表理事・会長の高木金次が、令和4年5月1日に永眠いたしました。ここに生前のご厚誼に深く感謝するとともに、謹んでお知らせ申し上げます。

記

氏名 高木 金次（たかぎ きんじ）
生年月日 昭和7年（1932年）2月23日（享年90歳）
逝去日 令和4年（2022年）5月1日
略歴
昭和25年 三島社会保健事務所勤務
昭和36年 東京厚生年金会館勤務 ホールマネジャーとして数々の催しを企画すると同時に、日本で初めての福祉施設団体を結束させた「合同歳末チャリティショウ」や、その他障害者スポーツ、文化催事等の多彩な福祉事業をプロデュース、開催した。
昭和41年 福祉事業や関係者交流の必要性を痛感し、そのセンターとなる組織として日本チャリティ協会を設立
昭和56年 日本チャリティ協会財団認可
平成元年 日本チャリティ協会代表理事就任
平成28年 創立50周年記念迎える。

この間「福祉は医療・施設・生活援助にとどまらず文化を大切に～」を理念として、「福祉文化」の基盤づくりに専念、芸術文化・スポーツ・レクリエーションを通じ障害者・高齢者の健康で生きがいあるくらしづくりを推進。特に力を注ぐ障害者アートの活動はアジア諸国と連携し、東京五輪の開催に合わせて「パラアート(障害者アート)国際展」を実現した。藍綬褒章を受ける。

通夜・告別式につきましては、遺族の意向により親族のみで執り行いました。
なお、誠に勝手ながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご弔問等は辞退申し上げます。

後日、遺族主催のお別れの会を執り行う予定であります。詳細は当協会ホームページ（www.charitykyokai.or.jp）等で改めてご連絡を申し上げます。

以上